



令和6年度放射線安全取扱部会年次大会 (第65回放射線管理研修会)のお知らせ(3)

令和6年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

令和6年度放射線安全取扱部会年次大会は関東支部が担当し、長野県松本市で開催します。

本大会の概要を以下に示します。

年次大会概要

○開催日：2024年10月17日(木)、18日(金)

○会場：あがたの森文化会館

長野県松本市県3丁目1番1号

○テーマ：コロナ禍を乗り越え逞しく

～大正ロマン薫る講堂で是からを考える～

参加登録の詳細は年次大会ホームページ (https://www.jrias.or.jp/annual_meeting/index.html) でご確認ください。

参加費(税込)	事前登録	当日登録
年次大会 一般 学生会員	6,000円 無料	7,000円
交流会 一般 学生会員	8,000円	-

学生会員は入会にあたり年会費として1,000円を申し受けます(事前登録のみ)。

交流会の当日登録はありません。定員になり次第締切りとさせていただきます。

〈プログラムのハイライト〉

【1日目】

●特別講演Ⅰ「最近の放射線安全規制の動向」

(10月17日 11:00~12:00)

放射線測定信頼性確保の義務化が令和5年10月に施行、各事業所では予防規程が改訂され運用が始まっています。その後の最新の放射線安全規制の動向を原子力規制庁の担当官の方に解説いただきます。

●特別講演Ⅱ「放射線被ばくと遺伝影響」

(10月17日 15:00~16:00)

放射線影響研究所の中村典氏よりご講演いただきます。原爆被爆者、チェルノブイリ事故による放射線被ばく者、あるいは小児の悪性腫瘍の治療目的で生殖腺に被ばくした元患者や家族等の調査による影響評価の結果、人体での被ばく影響は見つかっていないが更なる深掘りは行われてこなかったことを踏まえ、これらの再検討によって得られた知見の詳細な解説をいただきます。またマウスとヒトには、共通したところと共通していないところがあることで、興味深いトピックであり、新たな知見の取入れや知識の深掘りをする良い機会ではないでしょうか。

●特別講演Ⅲ「診療放射線技師の現状と社会貢献」

(10月17日 16:10~17:10)

日本診療放射線技師会の上田克彦氏より診療放射線技師養成の現状と働き方改革や放射線取扱主任者に係る法令改正等についてご講演いただきます。また福島原発事故後、原子力規制庁や環境省と協働した原子力災害対策や住民の被ばく相談等の社会貢献としての活動をご紹介します。

多様性の観点からも、医療現場での職能集団がどのような活動をされているのか、今後どのようなミッションがあるのか興味深い内容だと思います。

●ポスター発表(本館 2-5, 2-6, 2-7)

参加者の皆様より、放射線安全管理をキーワードとした内容についてポスター発表をしていただきます。全国の放射線施設の管理担当者、放射線取扱主任者、将来、主任者を目指す学生等の皆様の意見交換・情報共有の場となることを期待します。また、関東支部では「私の施設の規則第20条に係る測定

の信頼性確保の様式」をテーマとして皆様に発表していただく「お題提案型ポスター発表」を企画しています。

ポスター掲示：10月17日12：00～

10月18日12：00

ポスター発表時間：10月17日13：00～15：00

【2日目】

●シンポジウムⅠ「東日本大震災直後からの復興支援の振り返りからの学びと教訓」

(10月18日 9：30～10：50)

長崎大学の松田尚樹氏より、放射線取扱主任者として原子力災害との接点について、初期対応から得た知見を原子力災害対策へどう反映しているのか、またどう反映していくのかをご講演いただきます。

福島県立医科大学 / 福島国際研究教育機構の山下俊一氏より、福島原発事故における被ばく線量評価、事故後の甲状腺の健康影響に的を絞って県民健康評価と原子力災害対応の現状、そして福島復興への貢献等についてご講演をいただきます。最後に総合討論という形で、両先生を交えて会場の皆様とご議論をいただく予定です。未曾有の原子力災害に対して活動されてきた両先生の思いを受け、RI、原子力を問わず、放射線取扱主任者としての使命をもう一度考える良い機会になることを期待しております。

●シンポジウムⅡ「RI施設の未来に向けて～施設維持のための縮小と連携～」

(10月18日 11：00～12：20)

シンポジウムⅡは企画専門委員会の企画として行います。RI施設は廃止や縮小が全国で進んでいます。本シンポジウムでは、RI施設の廃止、縮小について、それぞれの経験者をお招きし、実際の苦勞や体験談を中心にご講演いただく予定です。また廃止や縮小のその後のあり方の一例として、RI利用の拠点化や集約化、コミュニティ形成による協力体制等についてもご講演いただくことで、必ずしもネガティブなだけではない、前向きなRI施設のあり方を考えていきます。

●相談コーナー（本館 2-8）

(10月17日13：00～14：30)

放射線管理業務における疑問やお困りごと等についてご相談をお受けいたします。事前申込制で、放射線管理・安全取扱、法令、RI供給・廃棄等幅広い分野に対応できます。

●機器展示（本館 2-5, 2-6, 2-7）

放射線関連サービス会社、製品メーカーによる機器展示を行います。各企業の最新情報を知ることができる貴重な機会です。お時間の許す限り、何度でもお立ち寄りください。

10月17日 10：30～17：30

10月18日 9：10～12：00

※ポスター発表会場、機器展示会場にはドリンクコーナーやWi-Fi設備を設けます。また参加型アトラクションを検討しておりますのでお楽しみください。

●交流会（アルモニービアン）

(10月17日18：30～20：30)

5年ぶりに交流会を開催します。会場は旧第一勧業銀行ビルで、国の登録有形文化財に指定されたレトロモダンな雰囲気漂う建物です。大会会場からは徒歩20分ほどの距離にあるためプログラム1日目終了後にシャトルバスを運行します。なお交流会の参加人数に制限がございます。このため、交流会への参加申込は事前登録にて承り、定員に達し次第締切りとしますので予めご了承ください。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会学術課

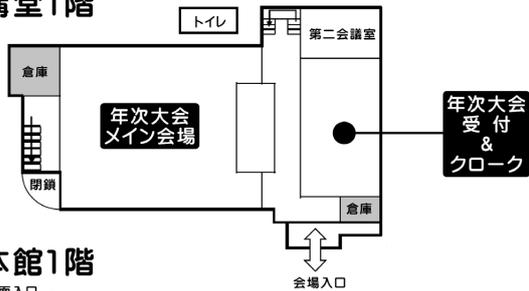
〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45

TEL 03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

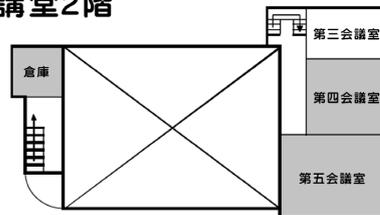
E-mail nenjitaikai@jrias.or.jp

会場レイアウト

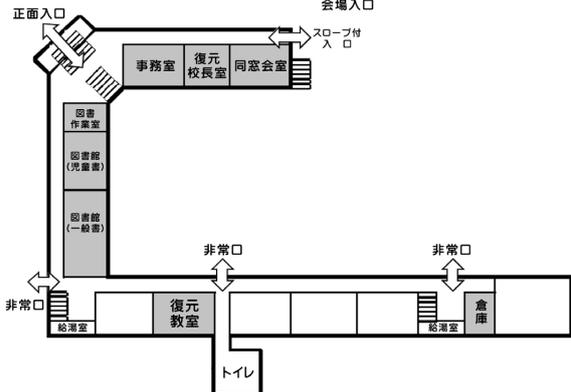
講堂1階



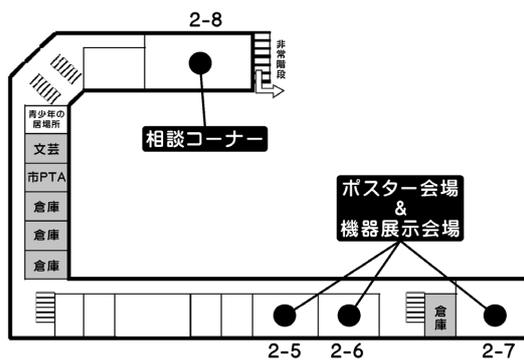
講堂2階



本館1階



本館2階



あがたの森公園



令和6年度放射線安全取扱部会年次大会（第65回放射線管理研修会）

期 日：令和6年10月17日(木)10:00~18日(金)13:00

会 場：あがたの森文化会館（長野県松本市県3丁目1番1号）

（松本駅徒歩20分，市内周遊バスタウンズニーカー東コース「旧松本高校」下車すぐ）

交流会：アルモニーピアン（長野県松本市大手3丁目5番15号）（松本駅徒歩10分）

プログラム

○1日目 10月17日(木)

時 間	講 堂	本 館
9:10	受付（第一会議室）	2-5, 2-6, 2-7
9:30	開場	・機器展示 10:30~17:30
10:00~11:00 (60)	開会・部会総会 令和6年度放射線安全取扱部会表彰式 （功労表彰・放射線安全管理奨励賞）	・ポスター掲示 12:00~17:30 発表者は12:00まで貼り終え， 翌日12:00まで掲示
11:00~12:00 (60)	特別講演Ⅰ 「最近の放射線安全規制の動向」 宮脇 豊氏（原子力規制庁） 田村康明氏（原子力規制庁） 座長 佐々木博之氏（富士電機）	2-8 ・相談コーナー （事前申込のみ） 13:00~14:30 申込みいただいた方で場所がわからない方は受付までお越しく下さい。
12:00~13:00 (60)	昼食休憩	
13:00~15:00 (120)	ポスター発表（本館2-5, 2-6, 2-7）	・休憩コーナー 13:00~16:10
15:00~16:00 (60)	特別講演Ⅱ 「放射線被ばくと遺伝影響」 中村 典氏（放射線影響研究所） 座長 小野孝二氏（東京医療保健大学）	
16:00~16:10 (10)	休憩	
16:10~17:10 (60)	特別講演Ⅲ 「診療放射線技師の現状と社会貢献」 上田克彦氏（日本診療放射線技師会） 座長 関 健介氏（杏林大学）	
18:30~20:30 (120)	交流会（アルモニーピアン） ポスター賞発表	

※大会会場から交流会会場への移動はシャトルバスをご利用ください。

○ 2 日目 10 月 18 日(金)

時 間	講 堂	本 館
9 : 10	受付 (第一会議室)・開場	2-5, 2-6, 2-7
9 : 30~10 : 50 (80)	シンポジウム I 「東日本大震災直後からの復興支援の振り返り からの学びと教訓」 (1) 「放射線取扱主任者と原子力災害の接点 ～初期対応から原子力災害時対策へ」 松田尚樹氏 (長崎大学) (2) 「福島原発事故対応の経験と教訓」 山下俊一氏 (福島県立医科大学 / 福島 国際研究教育機構) 座長 秋山和彦氏 (東京都立大学)	・ 機器展示 9 : 10~12 : 00 ・ ポスター掲示 9 : 00~12 : 00 ※ 12 : 30 以降に貼ってあるポス ターは実行委員会で処分しま す。 2-8
10 : 50~11 : 00 (10)	休憩	・ 休憩コーナー 9 : 30~11 : 00
11 : 00~12 : 20 (80)	シンポジウム II 「RI 施設の未来に向けて～施設維持のための縮 小と連携～」 (1) 「北大農学研究院 R I 施設を廃止して」 安原優子氏 (北海道大学) (2) 「愛媛大学医学部 RI 施設の改修に伴う縮 小の実際」 岩崎智之氏 (愛媛大学) (3) 「集団能として機能する日本アスタチンコ ミュニティ」 鷺山幸信氏 (福島県立医科大学) 座長 山本由美氏 (東北医科薬科大学)	
12 : 20~13 : 00 (40)	大会のまとめ 次回大会紹介 閉会	

ポスター発表申込み一覧

分類	番号	表題	氏名(所属)
施設管理・運用・リスク	A-01	KEKにおける放射線モニタリング装置の運用及び更新状況	大山隆弘, 飯島和彦, 津金聖和, 三浦太一 (高エネルギー加速器研究機構)
	A-02	KEKにおける放射線照射施設の施設共用化	飯島和彦, 大山隆弘, 岩瀬広, 津金聖和, 三浦太一 (高エネルギー加速器研究機構)
	A-03	信頼性確保と業務効率化に向けた放射線測定器の点検及び校正方法の再検討	津金聖和, 飯島和彦, 大山隆弘, 三浦太一 (高エネルギー加速器研究機構)
	A-04	立入検査を受けることを意識した放射線管理状況の自己点検	坂口修一 (山口大学), 赤木和美 (川崎医科大学), 北実 (鳥取大学), 外山実千留 (朝日大学), 牧大介 ((株)千代田テクノ), 松田淑美 (自然科学研究機構岡崎共通研究施設), 山本由美 (東北医科薬科大学), 渡部浩司 (東北大学)
	A-05	目視で確認できない排水設備の定期的な点検方法についての検討	北実 (鳥取大学)
	A-06	InLight 線量計の環境線量測定への適用に向けた低線量γ線応答の評価	岡崎徹, 関口寛, 小森宏信 (長瀬ラングウア(株)), 成田真人, 白本龍一, 網代和広, 石井康雄, 赤坂博美 (那珂フュージョン科学技術研究所)
	A-07	WEB サーバシステムを利用した放射線管理の事例紹介—汚染検査を例として—	中田実希, 野々村美貴, 田中将裕 (核融合科学研究所)
	A-08	電子申請を用いた RI 管理システムの構築	奥村良, 飯沼勇人, 平井康博, 竹下智義, 沖雄一 (京都大学複合原子力科学研究所), 牧大介 ((株)千代田テクノ), 花井浩之 (S2 ファクトリー(株))
	A-09	非密封 RI 管理 Web システムの構築	堀江仁一郎, 青島達之, 日暮利江子 (理化学研究所)
	A-10	従事者証明書に記載すべき項目に関する考察	鈴木智和 (大阪大学)
	A-11	日本保健物理学会 空港保安検査時の線量調査に係る専門研究会活動	牧大介 ((株)千代田テクノ), 伊知地猛 (電力中央研究所)
	A-12	RI 施設の利用促進につなげる学外受託サービスの紹介—RI の強みを活かせ!—	岩崎智之, 藤野貴広, 佐伯好美 (愛媛大学)
	A-13	校正事業者が設計した簡易的なサーベイメータ校正用ジグの性能評価	三家本隆宏, 吉葉友規 (日本アイソトープ協会)
	A-14	放射線測定器の信頼性確保のための点検・校正の一事例—法施行後1年間経過時点での実施計画および実施結果の確認—	阿部利明, 府川洋代, 日南真理, 馬田敏幸 (産業医科大学)
教育訓練・啓蒙活動	B-01	能動的学習による中高生への新規放射線教育について	藤野秀樹, 柴井修平 (兵庫医科大学), 佐藤佳子 (和歌山信愛中学校 高等学校)
	B-02	明治大学生田キャンパスにおけるエックス線安全教育講習の現状	白田ひびき, 筒井洋平, 小池裕也 (明治大学)
	B-03	医療従事者をめざす学生の放射線治療に関する意識調査	福田侑真, 畑友佳子, 倉島由紀子, 鍛冶聡 (北陸大学)
	B-04	放射線教育の展望—高等学校でのがん教育を通じて—	上田菜々子, 倉島由紀子, 畑友佳子, 鍛冶聡 (北陸大学)
	B-05	大学卒業生組織と連携した放射線教育と人材育成	関野梨名, 白田ひびき, 小池裕也 (明治大学), 秋山将人 (日本アイソトープ協会)
	B-06	あいち SR における教育訓練の現状	岡島敏浩, 野本豊和, 田中俊嗣, 花木博文 (科学技術交流財団)
	B-07	明治大学放射化学研究室における産学連携放射線教育の歩み	高橋亘, 白田ひびき, 小池裕也 (明治大学), 加藤明子 (エア・ウォーター防災(株)), 杉山和幸 (理化学研究所)
分科会・委員会・支部活動	C-01	PET 施設管理研究会の活動報告	PET 施設管理研究会
	C-02	定期講習の内容に関するアンケートご協力のお願ひ: 法令検討専門委員会	放射線安全取扱部会 法令検討専門委員会
	C-03	企画専門委員会の活動—令和6年度教育訓練講習会アンケート調査結果とその考察—	放射線安全取扱部会 企画専門委員会
	C-04	令和7年度放射線安全取扱部会年次大会のご案内	放射線安全取扱部会 近畿支部
	C-05	放射線取扱施設における安全管理技術の継承分科会活動報告2024	放射線取扱施設における安全管理技術の継承分科会
その他放射能・環境	D-01	加速器質量分析法 (AMS) を用いた雨水中の I-129 調査	松村万寿美, 坂口綾, 高橋努, 吉田哲郎, 笹公和 (筑波大学), 松中哲也 (金沢大学)

掲示時間 (10月17日 12:00~18日 12:00)

発表時間 (10月17日 13:00~15:00)

13:00~14:00 奇数番号ポスター説明 14:00~15:00 偶数番号ポスター説明